

「おしよろ丸」就航100周年記念の 写真パネル展を大船渡市で開催

この度、北水同窓会岩手県支部の主催により、現在、100周年記念事業の巡回展で使用している写真パネルを展示した写真パネル展が、12月24～25日まで大船渡市猪川町の県大船渡地区合同庁舎1階の県民ホールにて開催されました。

この写真パネル展は、「おしよろ丸」が北里大学海洋生命科学部との共同利用航海のために大船渡に寄港したことから実現したものであり、地元の新聞数紙には、昭和35年以来、49年ぶり2回目の寄港を報じる記事とは別に、この写真パネル展の開催が報じられました。

同窓会関係者の方の話では、県民ホールを訪れた大船渡市民は、明治42年に建造された初代「忍路丸」から現在の4世までの雄姿や各種実習風景などの珍しい写真を興味深そうに眺めていたとのことでした。

「おしよろ丸」100年の歴史とその存在を、函館から遠く離れた大船渡の地で紹介する機会を作っていただき、また、会場設営等にお骨折りを頂いた北水同窓会岩手県支部の方々に、この場を借りてお礼申し上げます。



－ 展示風景 －



－ 初代「忍路丸」に注目 －



－ 特専時代の写真に見入る同窓生？ －



－ 海外港への寄港風景を見る市民 －